



Heritage to the future

2026年3月期第3四半期 決算補足説明資料

Supplementary Materials for Financial Results

株式会社ヤギ | 東証スタンダード市場：7460

2026.02.09

つなぐのは世界、
広げるのは希望。

Since 1893、素材にこだわる繊維商社

2026年3月期経営目標

売上高目標を下方修正する一方、利益体質の改善により経常利益及び配当予想を上方修正。

【定量目標】	当初計画	修正計画	増減率
売上高	900億円	840億円	▲6.7%
経常利益	38億円	46億円	+21.1%
【経営指標】	当初計画	修正計画	増減率
ROE	6.0%以上	7.8%以上	+1.8pt
【株主還元】	当初計画	修正計画	増減
配当性向	35%以上	35%以上	—
配当金(年間)	111円	147円	+36円
配当金(期末)	61円	97円	+36円

※中間配当50円実施済。

決算業績サマリー

定量実績

売上高

前年同期
616.4億円
↓
633.6億円
(+2.8%)

営業利益

前年同期
27.2億円
↓
39.4億円
(+45.0%)

経常利益

前年同期
28.6億円
↓
45.6億円
(+59.2%)

四半期純利益

前年同期
19.5億円
↓
35.7億円
(+83.3%)

ポイント

- 雇用環境は改善傾向の一方で、物価上昇の長期化に加え米国の通商政策による影響など先行き不透明な状態が継続。
- 厳しい消費環境にありながら、新規出店や各種施策が奏功した「ブランド・リテール事業」、及び販売チャネルの特性に応じた成長施策を実行した「アパレル事業」が牽引。着実な増収を確保するとともに、効率的な事業運営により、全ての段階利益で大幅な増益を達成。

目次

01 連結業績 P5-10

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-19

04 中期経営計画の取り組み P20-26

05 参考資料 P27-29

目次

01 連結業績

P5-10

02 セグメント別業績

P11-16

03 連結業績予想

P17-19

04 中期経営計画の取り組み

P20-26

05 参考資料

P27-29

決算業績

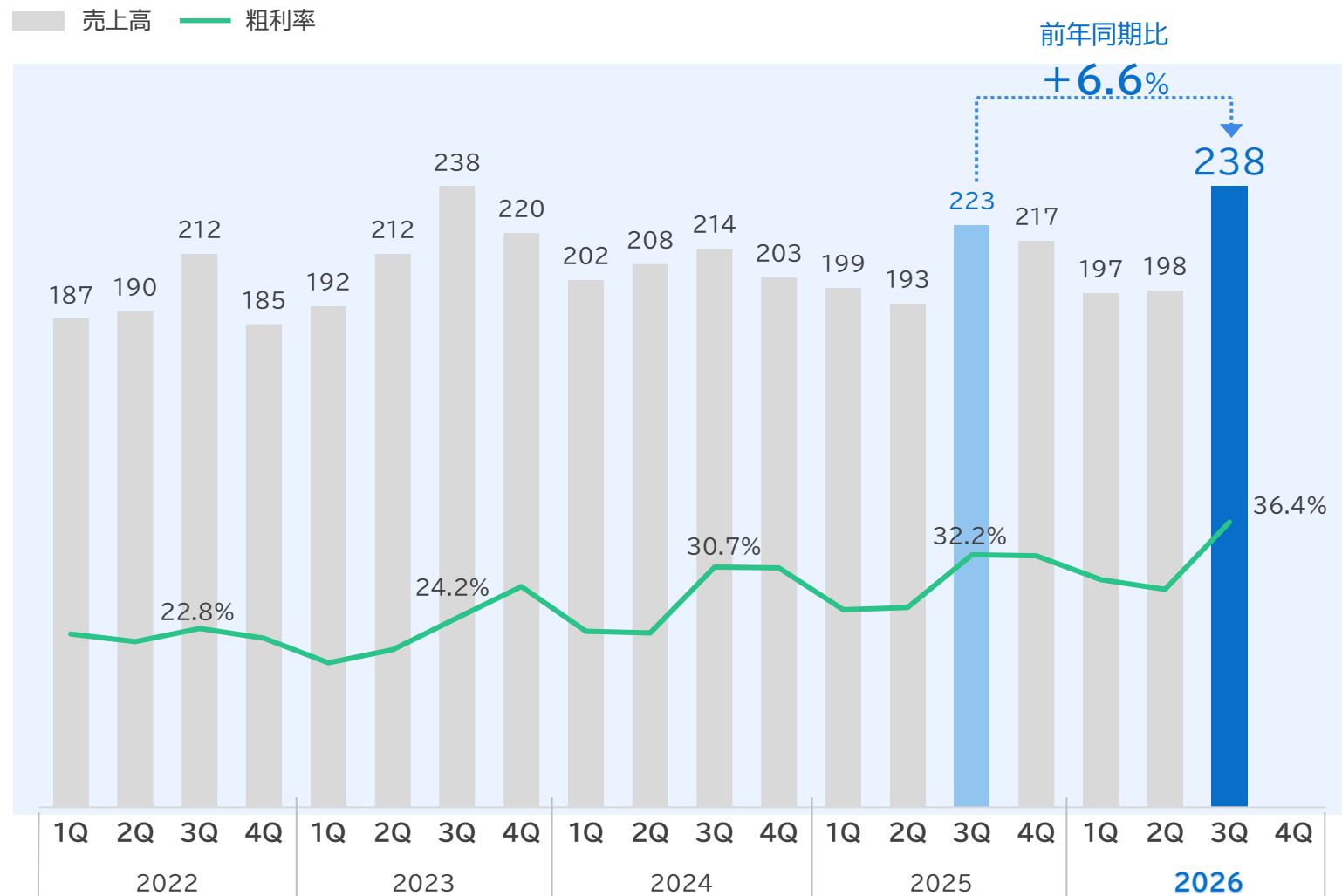
粗利率の大幅な向上に加え、収益構造の改善が寄与し、各段階利益が大幅に増加。

(億円)	2025/3Q	2026/3Q		
	実績	実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	616.4	633.6	+1.7	+2.8%
売上総利益 (率)	171.7 (27.9%)	199.2 (31.4%)	+27.4	+16.0%
営業利益 (率)	27.2 (4.4%)	39.4 (6.2%)	+12.2	+45.0%
経常利益 (率)	28.6 (4.7%)	45.6 (7.2%)	+16.9	+59.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (率)	19.5 (3.2%)	35.7 (5.6%)	+16.2	+83.3%
1株当たり 四半期純利益(円)	233.64	430.33	+196.69	+84.2%

売上高の推移

3Q単体でも売上高は、増収を達成。
(前年同期比+6.6%)
粗利率は、毎四半期継続して上昇中。

売上高 (億円)



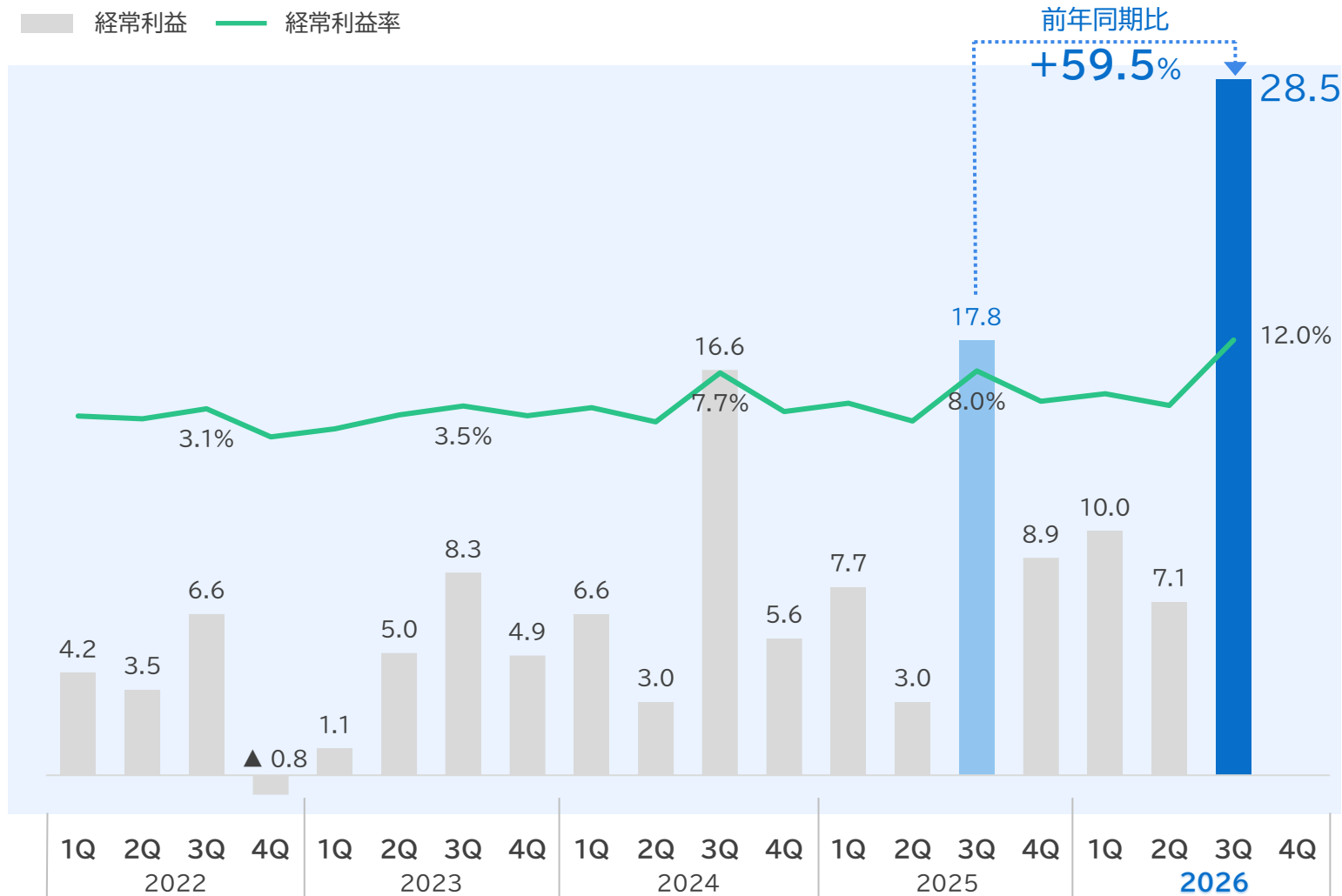
経常利益の推移

3Q単体でも経常利益は、大幅な増益を達成。

(前年同期比+59.5%)

経常利益率は、毎四半期継続して上昇中。

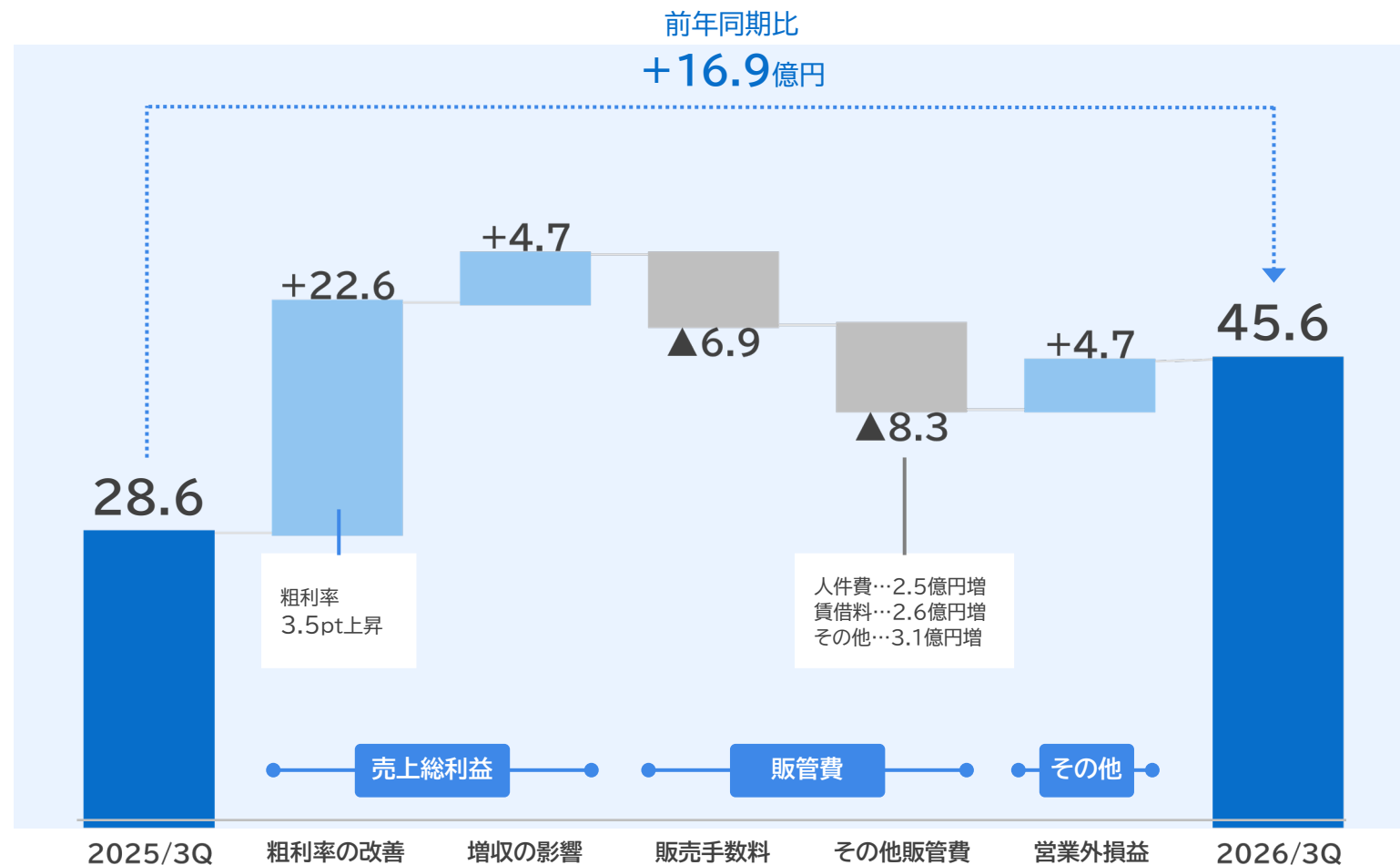
経常利益（億円）



経常利益の増減要因

増収効果に加え、粗利率の3.5pt上昇が利益を大きく押し上げ、人材投資を中心とした販管費等の増加を吸収して経常利益は大幅な増益。

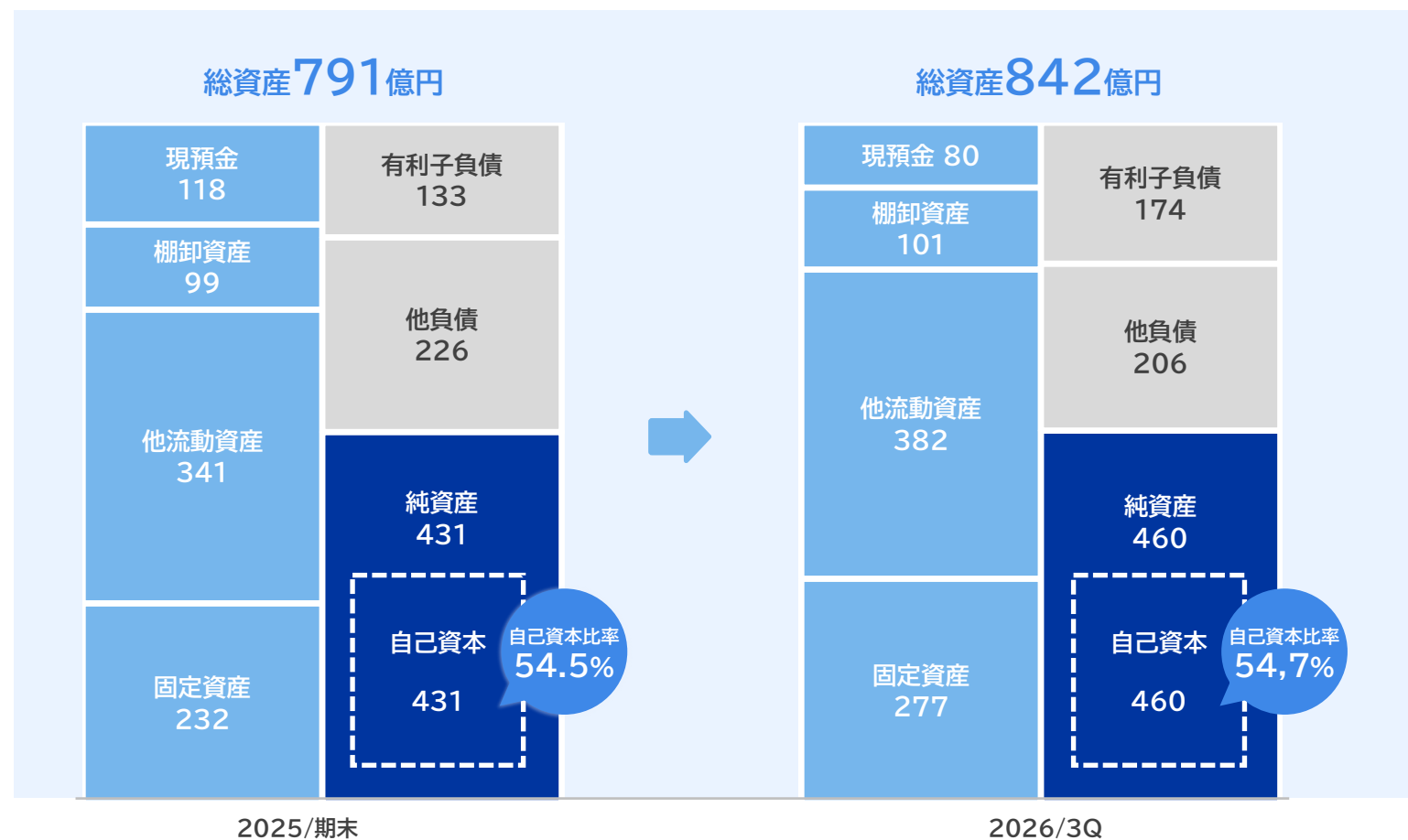
経常利益（億円）



B/Sの増減

棚卸資産を含む流動資産や固定資産などが増加し、総資産が842億円へ拡大。
自己資本比率は0.2pt改善し、前期末を上回る水準を維持し、強固な財務基盤を継続。

バランスシート（億円）



目次

01 連結業績

P5-10

02 セグメント別業績

P11-16

03 連結業績予想

P17-19

04 中期経営計画の取り組み

P20-26

05 参考資料

P27-29

セグメント別サマリー

※セグメント利益は、各セグメントに直接関連する収益及び費用を計上しており、全社共通費（本社費用など）やセグメント間取引の消去などの調整額は、セグメント利益には含まれておりません。

※組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より「ライフスタイル事業」に含めていた一部の事業組織を「マテリアル事業」に、「マテリアル事業」に含めていた一部の事業組織を「アパレル事業」にそれぞれ変更しております。また、当第3四半期連結会計期間より「アパレル事業」に含めていた一部の事業組織を「マテリアル事業」に変更しております。このため、前第3四半期連結累計期間との比較については、変更後の区分方法に組み替えて比較を行っております。

詳細は、本日公表の「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

マテリアル

売上高	180.2億円	(▲15.7億円)
-----	---------	-----------

利益	6.1億円	(▲ 1.5億円)
----	-------	-----------

減収減益	✓	主要取引先の生産・在庫調整などにより売上が減少
	✓	サステナブル原料が引き続き好調で、海外向けも堅調に推移

ライフスタイル

売上高	37.0億円	(+0.3億円)
-----	--------	----------

利益	4.0億円	(+0.3億円)
----	-------	----------

増収増益	✓	化粧雑貨は、中国市場、百貨店免税が低調に推移し売上が減少
	✓	タオル事業は販路拡大により売上が増加

アパレル

売上高	340.6億円	(+10.9億円)
-----	---------	-----------

利益	29.4億円	(+ 7.9億円)
----	--------	-----------

増収増益	✓	販売チャネルの特性に応じた成長施策を着実に実行したことにより売上が拡大
	✓	ユニフォーム事業が伸長
	✓	自社企画商材の在庫回転の効率化により利益改善

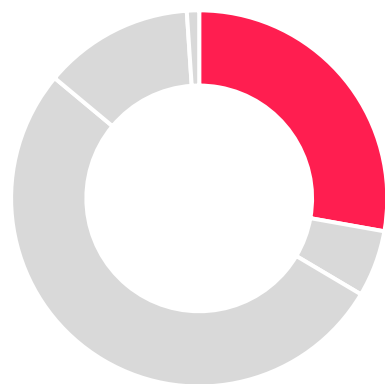
ブランドリテール

売上高	83.5億円	(+19.3億円)
-----	--------	-----------

利益	12.0億円	(+ 9.1億円)
----	--------	-----------

増収増益	✓	新規出店が売上に貢献
	✓	新ラインの投入、大規模プロモーション施策が奏功し、買い上げ客数・単価が共に増加

マテリアル



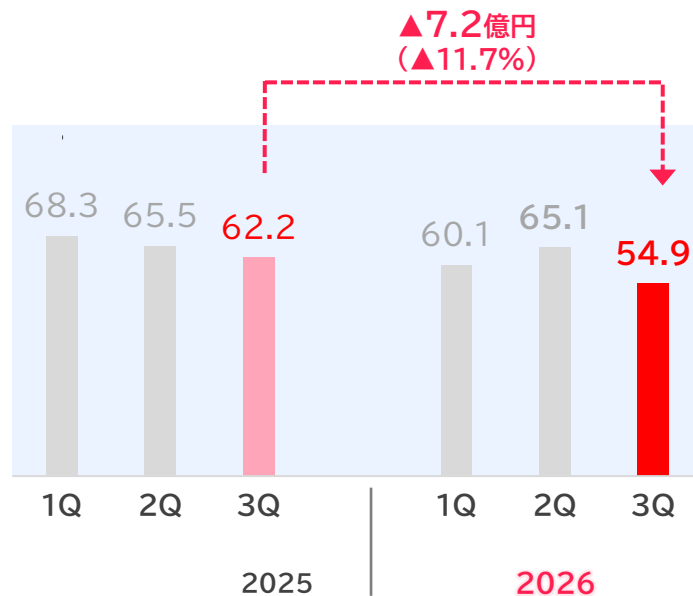
売上高構成比
27.8%

方針

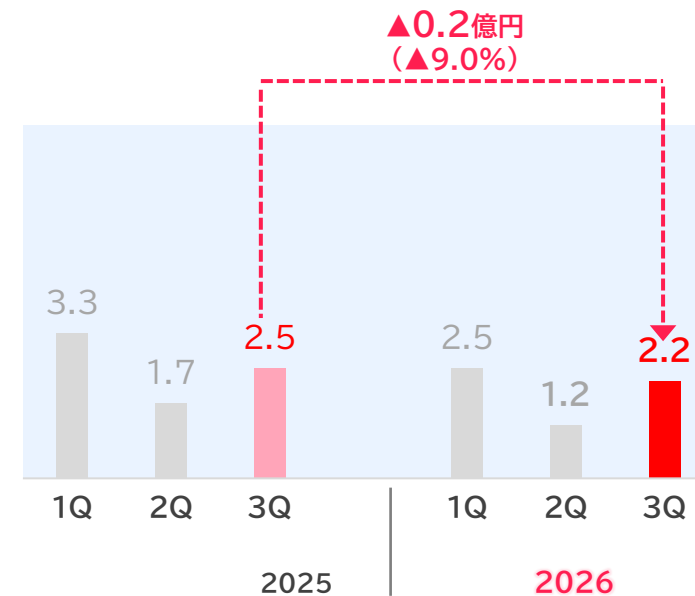
エンドユーザーを意識した原料・生地の開発と販売をグローバルに展開する

- 「UNITO project」の推進による原料を軸としたテキスタイルの開発と販売
- 差別化原料を武器とした新規商品開発と拡販
- 産地との共生によるビジネスの進化
- 海外市場の開拓と拡大

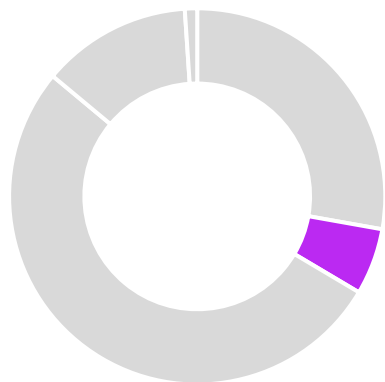
売上高



利益



ライフスタイル



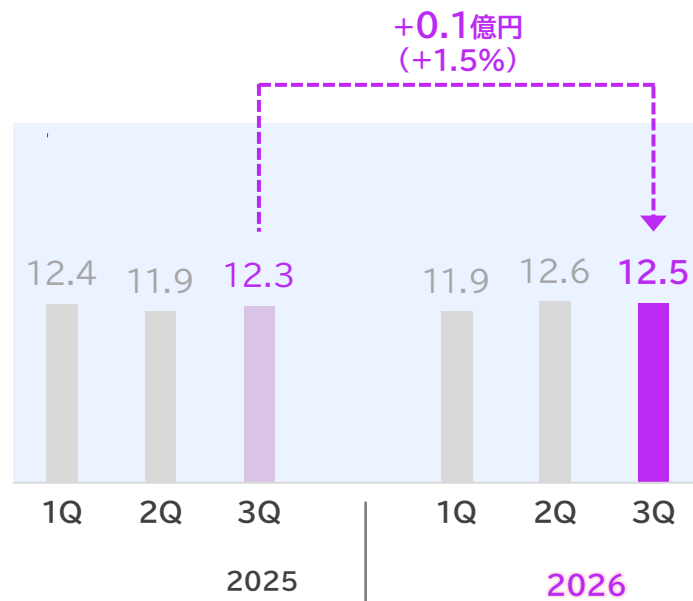
売上高構成比
5.7%

方針

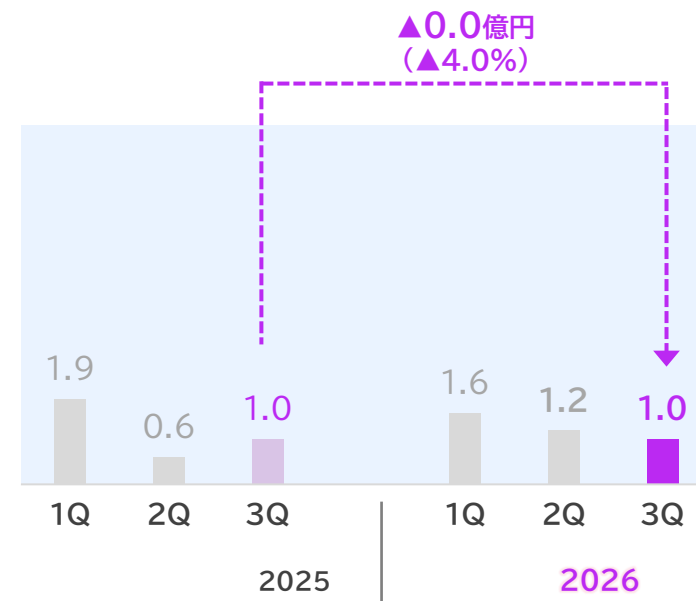
生産基盤の拡充と事業領域の拡大

- 国内外の生産基盤の拡充と生産効率の向上によるコスト削減
- 事業領域拡大のための企画力強化

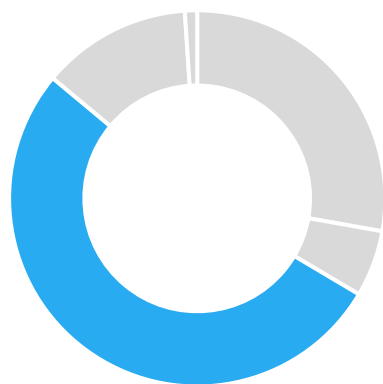
売上高



利益



アパレル



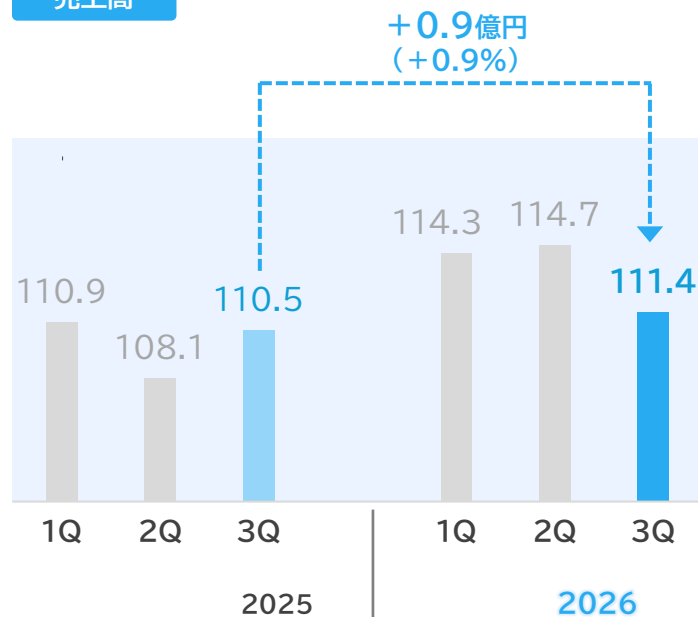
売上高構成比
52.5%

方針

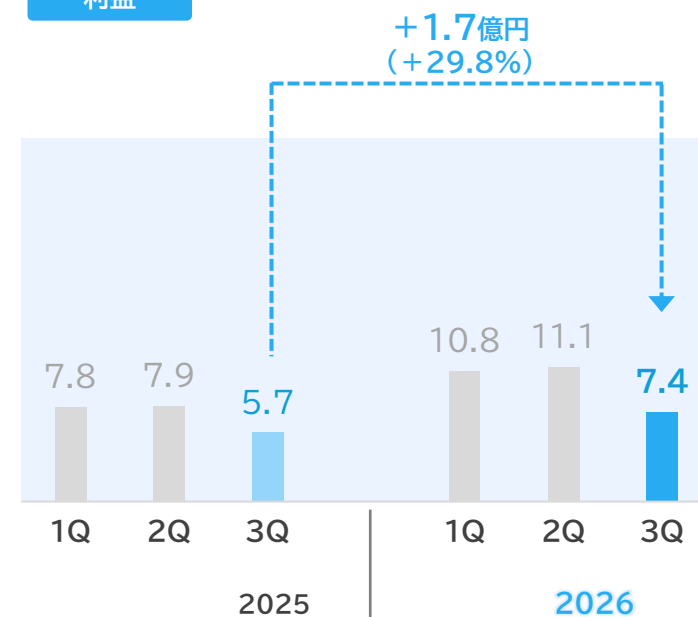
攻めの事業戦略で売上を拡大

- 販売チャネル別の成長施策による売上拡大
- 新規領域への挑戦と体制強化による中長期的成長の実現
- 重点領域への選択と集中及び販売体制の強化
- 海外販売の拡大とパートナーシップ強化

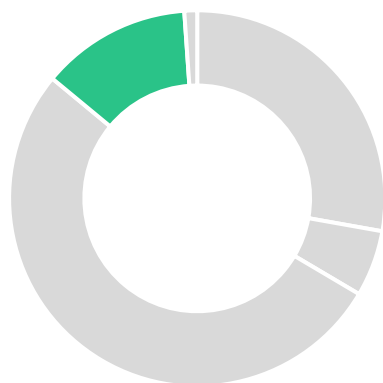
売上高



利益



ブランド・リテール



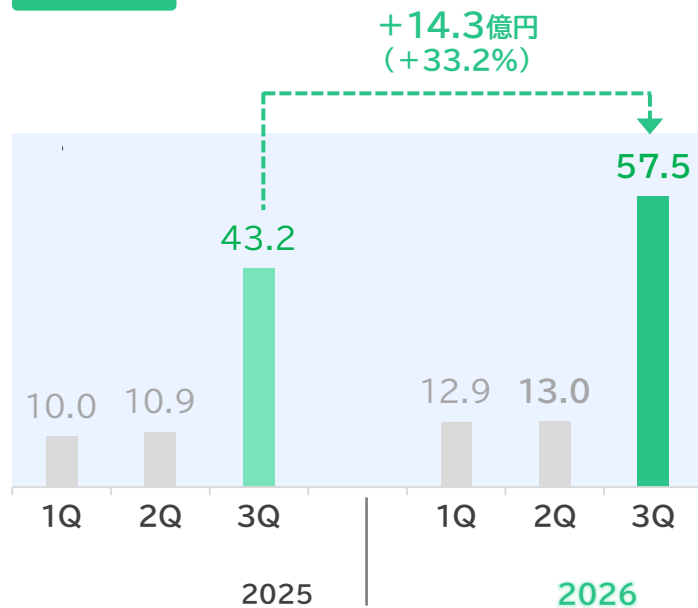
売上高構成比
12.9%

方針

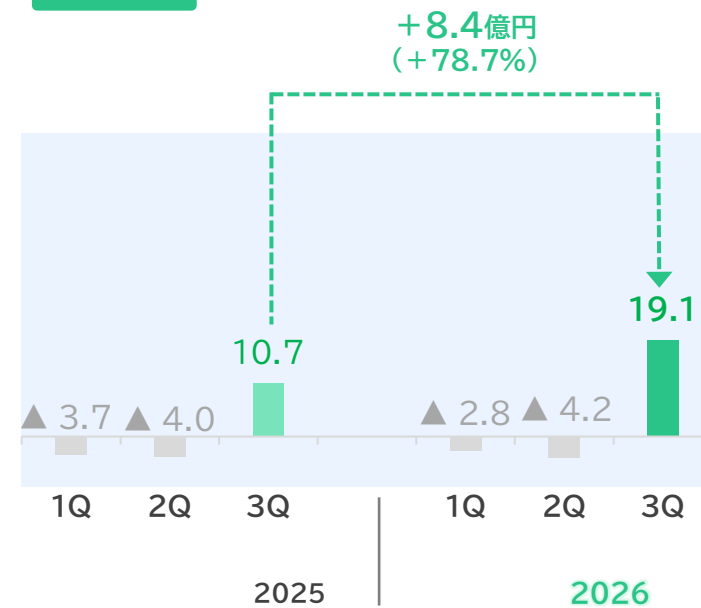
ヤギグループの次代を担う中核事業へ

- グローバル展開とブランド拡大の推進
- 国内店舗戦略の強化と効率化
- 組織体制と運営基盤の強化

売上高



利益



目次

01 連結業績 P5-10

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-19

04 中期経営計画の取り組み P20-26

05 参考資料 P27-29

進捗

各段階利益が3Q時点で当初の通期予想を達成したことを受け、業績予想を修正。

4Qは翌期以降の飛躍に向けた「先行投資期間」と位置付け、将来成長を確実なものにするための施策を前倒して実行予定。

(億円)	2026/3Q	2026/通期	
	実績	予想	進捗率
売上高	633.6	840.0	75.4%
営業利益	39.4	40.0	98.6%
経常利益	45.6	46.0	99.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	35.7	35.0	102.3%
ROE	—	7.8%以上	—

株主還元

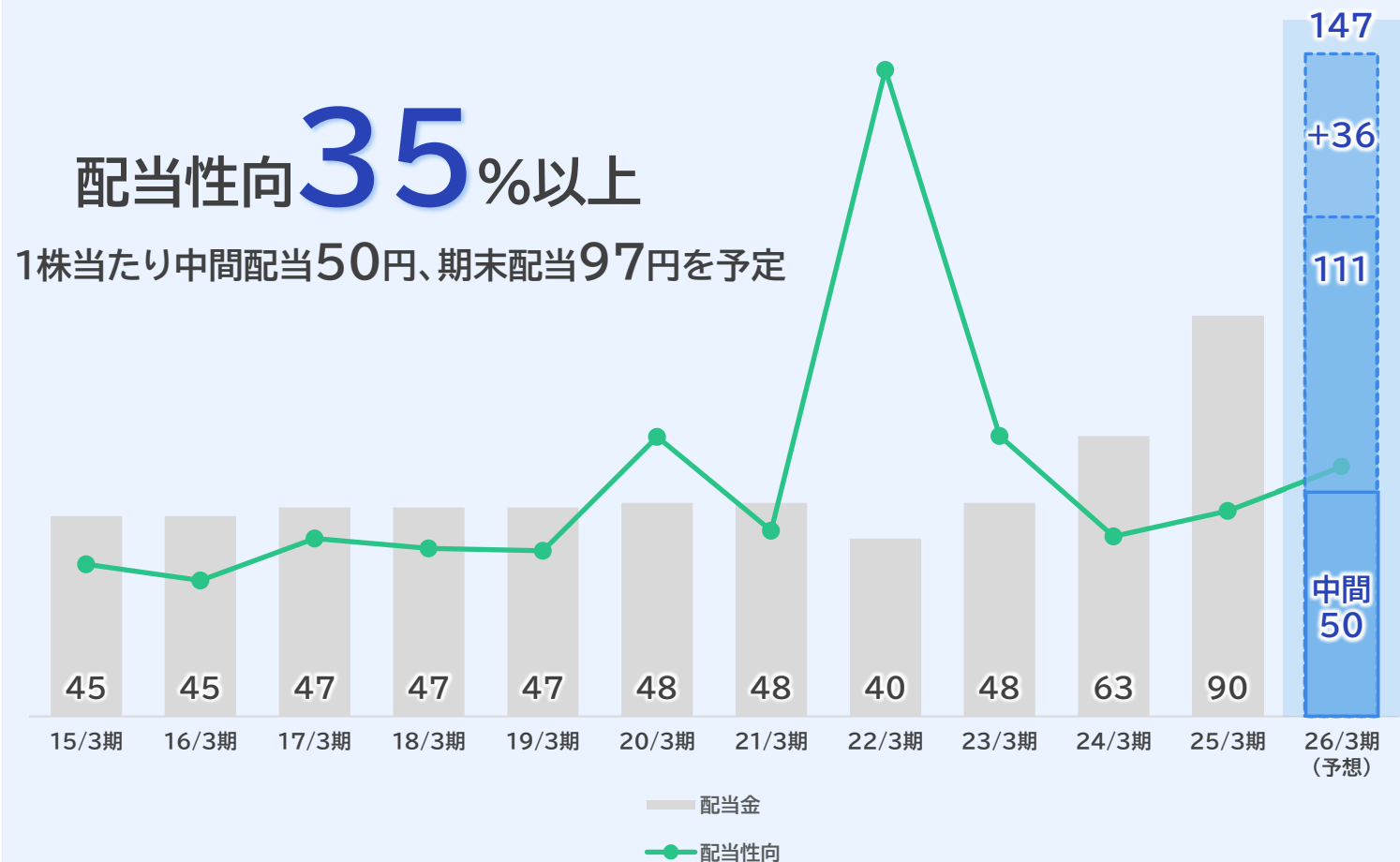
株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつとして認識しており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していきます。

この方針を維持しつつ、更なる資本効率の向上と最適な資本配分の実施を進めることで配当性向35%以上の配当を基本方針としております。

上記方針に基づき、年間配当予想を111円から147円へ修正しました。

1株当たり配当金

配当性向 **35%**以上
1株当たり中間配当50円、期末配当97円を予定



目次

01 連結業績 P5-10

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-19

04 中期経営計画の取り組み P20-26

05 参考資料 P27-29

中期経営計画の取り組み

基本方針



社 是

終始一誠意

新しい価値の創造とグローバルな挑戦を行い、
人々の生活によりこびを与え豊かな社会に貢献していく

- 人・地域・国を結び、繊維の可能性を引き出していく
 - お客様の声に耳を傾け、社会と共有できる価値によって社会とヤギグループの持続的成長を結実させていく
 - 仲間同士がたたえ合い、健康でイキイキと働く環境を構築していく
-
- ヤギグループの持続的成長の基盤作り
 - 基本方針を実現するための経営基盤の強化策

基本戦略

事業戦略

- セグメントグループでの収益力強化
- ポートフォリオでの選択と集中

グローバル戦略

- サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開

グループ経営戦略

- グループマネジメントの進化
- グループ内のDX基盤の構築

人材戦略

- グループ人材や組織制度の連携強化
- 人材活性化環境の整備

ESG戦略

- CSV経営の実践
- コーポレートガバナンスの強化

中期経営計画の取り組み

基本戦略		取り組み	
事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● セグメントグループでの収益力強化 ● ポートフォリオでの選択と集中 	成果	<ul style="list-style-type: none"> ● セグメント体制が確立したことで、各セグメントの収益力が強化
グローバル戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● サステナブル・ブランド・デジタルの3つの視点でグローバル展開 	成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型素材ブランドをリブランドした「UNITO project(ユナ・イト プロジェクト)」がスタート ● 海外拠点を開設
グループ経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● グループマネジメントの進化 ● グループ内のDX基盤の構築 	成果	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク、インフラへの投資により、業務効率アップ
人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ人材や組織制度の連携強化 ● 人材活性化環境の整備 	成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 人事評価制度の刷新 ● 研修制度の見直しを実行 ● 表彰制度を新設定 ● グループ横断型研修の導入
ESG戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● CSV経営の実践 ● コーポレートガバナンスの強化 	成果	<ul style="list-style-type: none"> ● リスク管理委員会、サステナビリティ委員会、指名・報酬委員会の設置 ● TCFDに基づく情報開示の実施



トピックス | 01

マテリアル

アパレル

グローバル戦略

ESG戦略



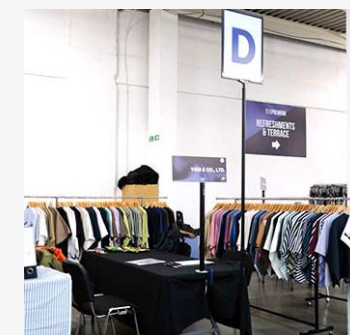
「つなぐ」「ひろげる」
YAGIの「イマ」がわかる
詳細はこちら



ドイツ開催の世界最大級のスポーツ用品専門見本市「ISPO Munich 2025」に初出展

当社は、昨年11月30日(日)～12月2日(火)の3日間にわたってドイツ・ミュンヘンで開催された「ISPO Munich」に初出展いたしました。ISPOは1970年から開催されており、アウトドア・スポーツファッション・ヘルス & フィットネス・スポーツ用品など幅広い分野の新商品やブランドが集まります。

環境保護や気候変動対策といったサステナビリティが主要なテーマとして取り上げられ、会期中、当社は環境・健康・暑さ対策などの社会課題解決を目的として開発した、マテリアル部門のオリジナル素材を活用し、アパレル部門が得意とするワークウェアにスポーツテイストを加えたテキスタイル・製品をスポーツ・アウトドア分野を中心に幅広く提案いたしました。今後も、オリジナル性の高い価値を訴求し、機能性ワークウェアやスポーツ分野でのグローバル展開を拡充してまいります。



英国・ロンドンで開かれるラグジュアリーテキスタイル展示会「TEXPREMIUM」に初出展

当社は、昨年12月、英国・ロンドンで開かれた最高級テキスタイルとアクセサリーに特化した展示会「TEXPREMIUM」(テックスプレミアム)に初出展いたしました。同展示会は、2022年の開始以来、6月と12月の年2回開催される恒例の展示会として定着し、英国の主要なファッションブランドや衣料品メーカーが集うラグジュアリー市場向けの重要なプラットフォームを提供しています。

今回、当社ブースではグループ会社のイチメンと共に、環境配慮型素材「UNITO」を始め、尾州産地のウール生地や近江晒しなど日本ならではの素材を提案しました。今後も、中期経営計画2026「Heritage to the future」にて掲げている「グローバル戦略」に基づき、このような国際展示会への出展を通して今後も海外市場に向けた展開を強化していきます。



トピックス | 03

ライフスタイル

アパレル

グループ経営戦略

ESG戦略



ヤギグループ3社が合同で「オーガニックライフスタイルEXPO East」に出展

当社は昨年10月、国内最大のオーガニック展示会「第10回 オーガニックライフスタイルEXPO East」に、グループ会社の「ツバメタオル株式会社」、「日本パフ株式会社」と共に「ヤギグループ」として出展いたしました。

ブースでは、ツバメタオルのオーガニックコットンタオルをはじめ、日本パフのスキンケアブランド「laccche」、寄付金付きの「musubu T-Shirt」、当社のオーガニックコットン生地を使用した夜用吸水ショーツ「KAANE」など、グループ各社の強みを活かした多彩な環境配慮型プロダクトを展示・販売しました。

今後も、これら3社を含むグループの連携を通して異なる分野の力を結集し、持続可能な社会の実現と次世代へ繋がる未来の構築を目指してまいります。



WEAVA



REPRO-PARK

株式会社WEAVAが東京都「グリーン製品市場の創出に向けたサプライチェーンにおける脱炭素化支援事業」に採択

当社グループの株式会社WEAVAは、東京都の「グリーン製品市場の創出に向けたサプライチェーンにおける脱炭素化支援事業」に、リペア事業「REPRO-PARK」が手がけるスニーカー「REPRO-TRAINER」で応募し、採択されました。

REPRO-PARK事業は、卓越した技術を持つ職人がラグジュアリーウェアの修理を行うサービスです。特にダウンジャケットの修理に強みを持ち、豊富な生地ストックを活かした高度なリペアを実現しています。

東京都の支援事業を活用し、対象製品の全工程における温室効果ガス排出量(カーボンフットプリント)を算定し、効果的な削減策を実行します。あわせて、ブランディングやPRを通じてグリーン製品の魅力を発信し、消費者が環境配慮型製品を積極的に選択できる市場づくりを推進してまいります。

目次

01 連結業績 P5-10

02 セグメント別業績 P11-16

03 連結業績予想 P17-19

04 中期経営計画の取り組み P20-26

05 参考資料 P27-29

サステナビリティの考え方

当社は、「持続可能な企業であるための環境改善」、「持続可能な未来のために環境問題を解決」、「未来のライフスタイルへの提案」、「企業の社会的責任」という4つのミッションステートメントのもと、マテリアリティ(重要課題)の設定と対応を通じて経営戦略を加速させることで、社会とヤギグループの持続的成長を目指しております。



17のマテリアリティとSDGs

中長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けて、17のマテリアリティと取組項目に対し、事業活動を通じて、定めた目標に向けての取り組みを引き続き推進。



ESG領域	課題の目的	重要課題
 環境	サーキュラー エコノミーの実現	① 持続可能な資源の有効活用
		② 産地の活性化
		③ サーキュラーエコノミーの実現
		④ サプライチェーン全体での温室効果ガスの排出削減
	イノベーションの創出	⑤ DXの推進
		⑥ 新技術の研究/開発への投資
		⑦ パートナーシップで業界特有の課題解決
 社会	ワークライフバランスの実現	⑧ 従業員のメンタルヘルスケア
		⑨ 長時間労働の是正
	ダイバーシティ& インクルージョンの実現	⑩ 多様な働き方の推進
		⑪ 人材の多様性の確保
		⑫ 若手社員の働きがいの向上
	女性の活躍推進	⑬ 女性のリーダーシップの機会を確保
		⑭ 女性が働き続けられる労働環境の整備
 ガバナンス	ガバナンスの強化	⑮ コーポレートガバナンスの強化
		⑯ サプライチェーンマネジメントの推進
		⑰ 取引先の人権侵害の防止



Heritage to the future

【免責事項】

本資料には、当社グループに関連する見通し、計画、目標等の将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において当社が入手している情報に基づき、一定の前提(仮定)と予想を基礎としています。また、本資料の作成に際して依拠した統計等第三者情報の正確性や完全性について、当社は何ら表明および保証するものではありません。

そのため、これらの記述または前提(仮定)は客観的に不正確であったり、将来実現しない可能性があり、将来の見通しと実際の結果は、経済状況の変化、お客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。当社は、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。

したがって、本資料のみに準拠して投資判断されることはお控えくださいますようお願いいたします。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

株式会社ヤギ 経営企画部 経営管理/IRG

E-mail : [IR\(投資家情報\)に関するお問い合わせ](#)



当社IRに関する、各種開示情報の掲載や事業内容などの最新情報を公式ホームページでも公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.yaginet.co.jp/ja/ir/index.html>

